

●User's Voice●

私立延世大学 アンダーウッドインターナショナルカレッジ (大韓民国) <http://oia.yonsei.ac.kr/>

木田 佳与子先生

J.Bridge for Beginners vol.1/vol.2 を選択外国語科 (Beginning Japanese1/2, Intermediate Japanese1/2) の授業で使用

延世大学アンダーウッドインターナショナルカレッジの日本語授業カリキュラムの特徴を教えてください。

週に5時間ある授業のうち、3時間はレクチャー、2時間は実践を促すドリルの時間とされている。

指導法はコミュニカティブティーチングを採用。

本テキストの採用理由は何でしょうか。

カリキュラムの特徴でも記したようにドリルの時間というのがあり、J.Bridge はロールプレイやリスニングなどが豊富なので適していると思ったため。既存の教科書でここまで様々なアクティビティーを含んでいるものはなかなかなかったため。

本テキストを使用した授業時間はどのくらいですか。

授業回数 50 分×5 コマ/週,総時間数 80 時間,コース期間 2 年間

本テキストの長所はどんなところでしょうか。

長所はなんといっても豊富でバラエティーに富んだペアワーク、スピーキング、リスニングです。これかの活動を通して学生の運用能力はかなり高まるようです。

学生さんからの感想があれば教えてください。

何人か学生は直接私のところにいろいろなアクティビティーがあったり、話すチャンスがいっぱいあって楽しい良い教科書だと言いに来た。私も授業に躍動感が出て非常にアクティブな授業ができると感じている。

本テキストを使用して、学生さんの力が伸びたと感じられる分野はありますか。

聴解、語彙/表現、 会話

その他使用していて感じる事があれば教えてください。

同じ外国語カリキュラムの中国語と韓国語の先生と外国語プログラムアドバイザーと授業見学をお互い毎学期しているが、日本語の学生が一番コミュニケーション能力に長けているようだとされている。やはり、この教科書は話す機会が多いため効果がでているのではないかと思う。